



「おひさまきらきら えがおいっぱいのなんざんようちえん」

南山幼稚園だより

3月号

平成28年2月29日

港区立南山幼稚園

新たなスタートに向かって

毎年、園舎の裏手にある植え込みに、ふきのとうが芽を出します。小さな草ではありませんが、新しい季節に向かう力強さを感じます。

さて、子供たちの活動の中にも、新たなスタートに向かって明るく希望に満ちた姿が見られます。

2月18日に4・5歳児のこども会を行いました。そして、26日には3歳児のこども会を行いました。おうちの方の温かな眼差しに見守られ、どの子供もその子なりのよさや力を発揮していました。

3歳児は、先生と一緒にごっこ遊びをしながら作った「夜の動物園」のお話を、役になりきって楽しそうにのびのびと表現していました。子供たちの仕草一つ一つが愛らしく、おうちの方からも笑みがこぼれます。会場はほのぼのとしていて、子供たちも心地よさそうでした。最後に、おうちの方にぎゅっと抱きしめられたときの子供たちのうれしそうな顔、そして、おうちの方の幸せそうな顔。素敵なこども会になりました。

4歳児は、「大きなかぶ」の劇遊びをしました。おうちの方に観ていただくことが嬉しくて、張り切って当日を迎えました。ステージに立つと、初めてのこども会に緊張気味でしたが、物語が始まると、自分の役を一生懸命に演じました。かぶを引っ張る仲間が増える度に子供たちの気持ちもどんどん高まり、一人一人の「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声が力強くなっていきました。そして、友達と気持ちを合わせた掛け声になっていきました。友達と一緒に演じる楽しさや心地よさを味わうことができました。

5歳児は、劇づくりに取り組みました。題名は「みんなのだいぼうけん」。物語の展開、台詞、役決め、そして衣装や道具に至るまで、子供たちが考え、工夫をしました。取り組む過程では、それぞれの思いがぶつかることもありましたが、折り合いを付けることを体験しながら、みんなで創り上げることを目標に頑張ってきました。そして、どの子にとっても大切に大好きな劇となっていきました。当日、子供たちは真剣に自分の役を表現していました。自分のことだけでなく、劇の展開に気を配っている様子もうかがえました。子供たちの一所懸命が伝わる、そして大きな成長を感じる素敵な劇となりました。おうちの方からたくさんの拍手をいただき、子供たちは、みんなで一つの劇を創り上げた喜びと充実感を心から味わったのでしょ。どの子も誇らしそうにしていました。

どの学年も、その学年なりの成長がうかがえた素敵なこども会でした。子供たちにとっては、今回のこども会で経験したことが、さらに自ら育とうとする意欲につながっているはず。私たちは、毎日の生活の中で、子供たちの自ら伸びよう、育とうとする気持ちをしっかり汲み取り、心から認め励ましていきたいと考えます。そして、新たな春に、子供たちが明るく力強くスタートできることを願っています。

この一年間、保護者の皆様や地域の皆様には、本園への温かい御理解と御協力いただきました。ありがとうございました。

園長 和田京子



3月のねらい

◎3歳児 りんご組

- 友達や教師と一緒に遊びを十分に楽しむ中で、自分なりにやりとりをしようとする。
好きな遊びを十分に楽しみながら、友達と思いが重なることや思いが違うことを経験しています。自分の思いを受け止めてもらうことで気持ちを落ち着かせ、幼児なりに状況を受け止めることや、関わる時に必要な言葉を知る過程を大切にしていきます。また、鬼遊び等、みんなと学級での活動を十分に楽しむことで、友達と過ごすことの心地よさを積み重ねていきます。
- 身近にあるいろいろな春の自然を見付け、親しむ。
園庭や池を見て、小さな生き物の様子や草花の変化を見付けることを教師と一緒に楽しんでいきます。幼児が見付けたことや感じたことに共感しながら、一緒にいろいろな春を楽しんでいきます。
- 大きくなる喜びを感じ、進級を楽しみにする。
自分でできるようになったことを教師がしっかり認めながら、ばら組に進級することが分かり、喜べるようにしていきます。また、さくら組に「ありがとう」の気持ちを伝え、ばら組とともにお別れをします。

◎4歳児 ばら組

- 友達と思いや考えを伝え合いながら、遊びを進めていくことを楽しむ。
自分の思いを伝え、受け入れてもらったり、相手の思いを聞き、受け入れたりしながら遊びや生活を楽しめるようにします。学級の仲間としての意識をもち、一緒に活動する楽しさを味わえるようにします。
- 誕生会の司会やお別れ会の準備をしたり、年長組に当番の仕方を教えてもらったりしながら、進級することを楽しみにする。
さくら組が行っていたことを教えてもらい、自分たちでやってみることを通して、進級することへの喜びや意欲が高められるようにします。また、今までさくら組がしてくれたことに対し、ありがとうの気持ちをもち、お別れ会を計画します。そして、心を込めてプレゼントを作ったり、準備を行ったりしていきます。
- 年長組を祝う気持ちや感謝の気持ちを込めて、修了式に参列する。
さくら組に対し、お祝いの言葉や歌を送ります。憧れの年長組の晴れの姿をしっかりと見ながら、修了式にふさわしい態度で参列できるようにします。

◎5歳児 さくら組

- 修了までの一日一日を大切にしながら、学級のみんなとの遊びや生活を楽しむ。
幼稚園での1日の生活に見通しをもち、進んで行動しながら、充実した日々を送れるようにします。そして、みんなでやりたい遊びなどを相談し、一緒に楽しみながら、修了までの一日一日を大切に過ごしていきます。
- 自分たちの成長の喜びと感謝の気持ちをもって修了式に臨む。
修了式への取組みでは、幼稚園の思い出を振り返り、自分たちの成長が感じられるようにしていきます。修了式では、今までお世話になった方々へ、感謝の気持ちを表しながら臨めるようにしていきます。
- 身近な自然の中でいろいろな春の訪れを発見し、興味・関心をもつ。
花の芽やつぼみの膨らみ、カエルの卵、気温の暖かさなど身近な自然の中に春を見つけ、友達と伝え合うことを楽しみます。そして、うれしい春の訪れを味わいます。

南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて
「使ったところをすみずみまできれいにしよう」

